

家祓やばらいのススメ

(入居の清祓きよはら)

神さまと共に暮らす

はじめに

新生活で新居に住まわれる方や、会社を開業される方も多いと思います。気持ちを新たに清々しい気持ちで入居する為にも、新築や中古、賃貸住宅や店舗を問わず、入居に際して家祓(入居の清祓)を致しましょう。

家祓(入居の清祓)に興味を持たれた方へ

日本では古くから、祖先ゆかりに縁の深い神さまや、地域をお守りくださる土地の神さまを氏神としておまつりしてきました。

元来、家を建築する場合はまず土地の神さまに工事の安全をお祈りするお祭りである「地鎮祭じちんさい」等の建築のお祭りを行います。現在は住宅事情が変わり、注文住宅や建売住宅だけではなく、中古住宅や集合住宅、賃貸住宅に居住することが増えています。その場合、建築のお祭りを行っているかどうか分からないことがあります。

神社では入居に際して「家祓」を行っております。神社の神職が現地で土地と家屋のお祓いを行い、家内や店内の安全を祈願します。お祓いが終わりましたら、ご家庭や店舗に神さまをお迎えする場である神棚おみだを設けて御神札をおまつりして、日々神さまに感謝とお祈りを捧げましょう。

家祓(入居清祓)のお問い合わせは〇〇神社まで

〒〇〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇県〇〇市〇〇〇〇-〇〇

☎〇〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇〇



建築のお祭り

住宅等の建築に関わるお祭りは工事の開始前に行う「地鎮祭」、工事の途中で行う「上棟祭」、工事の完了後に行う「竣工祭」等があります。



地鎮祭

建物の新築や土木工事の起工の際などに、その土地の神さま(氏神さま)等をまつり、工事の無事進行・完了と土地・建造物が未永く安全堅固であることを祈願するために行われるお祭りです。
尚、地鎮祭は地域によりおまつりのしかたも異なります。



上棟祭

「建前」や「棟上げ」とも呼ばれます。建物の神さまと匠の神さまをお招きして、棟上げまで工事が終了したことに感謝し、無事建物が完成することを祈願するお祭りです。
この時、餅などがまかれる餅まきが行われます。地域によっては餅以外にもお金、お菓子等様々なものがまかれます。



竣工祭

建物が完成したときに行うお祭りです。建物を祓い清めて神さまに完成したことを奉告して、建物が丈夫であることと、そこに住む人々の末永い繁栄をお祈りします。



御神札のおまつりのしかた

御神札は、神棚でおまつりします。神棚は、居間などの家族が集まる部屋の目線よりも高い位置に、南または東向きに設置するのがよいとされています。
神棚がない場合は、タンスや本棚の上におまつりするなど、かたちにこだわりすぎずに、出来ることから始めてみましょう。

尚、拝礼の際は二拝二拍手一拝(深いおじぎを二回、拍手を二回、深いおじぎを一回)の作法でお参りします。



三社づくりの場合



一社づくりの場合

※一番手前を天照皇大神宮にし、図の順に御神札を重ねて納めます。

お祭りの参列にあたって 知っておきたいこと

- ・お祭りに参列する際は神様にお祈りする神聖な儀式なので、節度ある服装を選びましょう。
- ・初穂料(神さまへのお志)は祝儀袋に入れて納め、表書きに「初穂料」または「玉串料」と書きます。